

同志社大学フォーミュラプロジェクト
支援者様

令和5年7月7日

同志社大学フォーミュラプロジェクト
6月活動報告

初夏の候、貴社におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。この度は、同志社大学フォーミュラプロジェクト（以下 DUFPP）の6月の活動についてご報告させていただきます。

現在、当プロジェクトではスポンサー企業様・個人支援者様の御支援・御協力により活動を進めており、今年度の大会にてより高い成績を獲得するための車両を作り上げるべく、設計製作を行っております。

そして、多大なる御支援していただいております企業の皆様、先生方、OBの皆様方に深く感謝いたします。今後とも宜しくお願い申し上げます。



図 1. 23project 車両

1. スポンサー様

日立 Astemo 株式会社様

日立 Astemo 株式会社様よりマスターシリンダー一式をご支援いただきました。

ご支援していただいたマスターシリンダーを使用し、大会にて完走できるよう、大会まで車両づくりに取り組んで参ります。



図2. 支援していただいたマスターシリンダー一式

スポンサー様一覧



2. 活動報告

走行会

6月24日、泉大津フェニックス多目的広場にて走行会を行いました。この走行会は、弊社チーム含めて5校の関西圏の大学が参加する合同走行会であったため、他チームから、車両についてだけでなく、ピット運営や走行メニュー等を学ぶことのできる良い機会となりました。

走行メニューとしては、午前中はアクセラレーション(直線コースでの走行)を行い、午後はアクセラレーションに加え、周回コースを合計約30周走行し、その中でエンデュランスシミュレーション(周回コースを2名のドライバーが10周ずつ連続して走る耐久走行)を行いました。エンデュランスシミュレーションでは、燃料が持つことを確認しました。



図3. 走行会の様子

[ドライバーの感想]

自分は、去年の大会でアクセラ、スキッドパッドを走行していたため、エンデュランスコースを走行するのは練習においても初めてでした。

コーナリングの仕方、アクセル、ブレーキを踏むタイミング等、スキッドパッドよりも考えないといけない事が多く、全く勝手が違うことを痛感しました。

特に、コーナー出口にてアクセルを少しでも踏みすぎると簡単にリアが滑ることに苦労しました。しかし、一緒にコースを走行していた同期や、22projectで走行していた先輩からのアドバイスをいただいたことで、走行毎に技術面においては改善されていったと思いました。

そして、思ったよりも筋力、体力が必要だと感じました。終盤になってくると腕が悲鳴を上げ始めて、パイロンを跳ねるなどのミスが多くなってしまいました。自分は今まで体重を減らすことを重視していましたが、それよりも筋力をつけた方が安定したタイムを出し、いい成績を残せるのではと思いましたので、大会当日までにエンデュランスを走り切れるだけの体を作るように努めます。

デザインブリーフィング

6月14日に、デザインブリーフィングを提出いたしました。デザインブリーフィングとは、8月に行われるデザイン審査（口頭質問）において、事前資料となるものであり、どのような設計思想のもとで車両づくりが行われたのかや、どのように実測するのかをパーツごとにスライド形式にて記載します。大会側から決定されたスライド枚数の中で、昨年度の問題点やそこからどのように改善されたのかなどを、ストーリーを飛躍させずに説明することを意識し、OBの方々にアドバイスをいただきながら、提出日までに改善を重ねました。



図4. デザインブリーフィング提出完了画面

デザインブリーフィング及び8月に行われる口頭質問にて高い成績を収め、トップ5に入ると、「デザインファイナル」に出場することができます。デザインファイナルとは、大会最終日に行われる競技で、上位5チームが実際の車両を並べ、車体および構成部品の設計の適切さ等についてプレゼンテーションを行くことで、順位が決まります。

昨年度では、デザイン審査の成績が6位であったため、デザインファイナル進出を逃しました。今年度では、昨年度の悔しさをばねに、8月に行われる口頭質問に向けて、準備を進めていきます。

Sales Presentation Document (SPD)

6月21日にプレゼンテーション審査における審査書類であるSPDを提出いたしました。プレゼンテーション審査とは、チームを、車両を設計・販売する企業と想定し、車両製造を委託する車両メーカーと想定された審査員に対し、学生がフォーミュラーを用いた事業内容をプレゼンテーションします。車両を活かした事業であるかや、販売戦略、実現性などが評価される競技であり、8月にオンライン上にて、審査員に対してプレゼンテーションし、順位が決定します。

その中でSPDとは、プレゼンテーション審査における事前資料となり、SPDを見ただけで発表の内容がわかる資料にしなければなりません。

プレゼンテーション審査担当は、昨年度の問題点の洗い出しや上位チームとの比較を繰り返し、SPDを完成させました。



図 5. SPD 提出完了画面

[プレゼンテーション審査担当の感想]

同志社大学のプレゼンの最も大きな課題は、プレゼン審査への意識が低いことだと考えたため、今年度は、早い時期から準備を始め、OBの方々からフィードバックをもらう機会を多く作りました。

また、内容としては社会問題に着目した企画を考え、さらにそこに実現性をもたせることを重視しました。利益の計算を何度もやり直し、企画を何度も練り直した結果、満足のいくSPDを提出できたと思います。しかし、これでプレゼン審査は終わりではありません。発表本番が大きな勝負になるので、気を抜かずに準備を進めていく所存です。

3. 今後の活動予定

- 7月1、2日 関西支部同試走会（泉大津）
7月8日 風洞実験
7月16日 ダイハツ工業株式会社様主催関西支部合同試走会
7月24日～ 期末テスト

4. 最後に

6月半ばまで静的審査すべてにおいて提出書類があったため、5月と6月中旬は主に静的審査の準備をチーム一同行っておりました。6月後半に入り、泉大津フェニックス多目的広場という学内走行場よりも広い走行場での走行会を行い、実際の競技と同じコースを走ることで、より一層、総合10位以内という目標を達成したいという思いになりました。

7月後半の期末テストが終わると、大会開催月になることが信じられず、日が過ぎる速さに驚きます。1日1日無駄にすることなく、大会に向けて、鋭意努力して参ります。

スポンサー様をはじめ、ご支援・ご協力くださる皆様に引き続き、感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

同志社大学フォーミュラプロジェクト (DUFPP)
23project 総務・フレーム担当 真山 彩葉子

〒610-0394

京都府京田辺市多々羅都谷 1-3 同志社大学

URL : <http://dufp.racing>

E-mail : cgug4041@mail4.doshisha.ac.jp
